



名前に込めた思い

校舎北側に面した職員玄関や昇降口前を彩るサルビア。用務員の石井さんが、丹精込めて育て上げてくださった真っ赤な花々が、今日も子ども達を優しく、温かく迎え入れてくれます。石井さんによると、この時期でも日中の陽射しがとても強く、植物の生育にも影響を与えていて、育てるのも以前より数段難しいとのこと。地球温暖化の波は、間違いなく我々の生活に様々な変化を求めています。

10月中を振り返ってみると、部活動の葛北新人戦や文化系部活の発表、南風祭などの行事が目白押しで、土曜・日曜の休日は子ども達の様々な活動で埋め尽くされていたように思います。

また、先日の南風祭での子ども達の頑張る姿は、記憶に新しいところです。私自身、9年ぶりの中学校の合唱コンクールであったため、印象深く、新鮮でいまだに感動の波が収まりません。当日は多くの保護者の方々にご参観いただき、子ども達を応援していただきました。本当にありがとうございました。子ども達の様子はどう映ったでしょうか。「最高の子ども達」と申し上げる理由がお分かりいただけでしょうか。行事や日常生活に絶対に手を抜かない子ども達の姿は、私達にとってやはり自慢です。

9月下旬から始まった3年生との「校長面接」。進路に向けたこの面接も1組から始まり、先日4組途中までが終了しました。朝、昼休み、放課後に数名ずつ一人10分という短時間で行っている面接ですが、どの子にも様々な考え方や特長、将来へのビジョンがあり、子ども達の話の聞いていると楽しくて、楽しくて、聞きたいことが山ほど出てきます。趣味や特技、長所や短所、中学校生活で頑張ったこと、高校で頑張りたいこと、さらに将来のこと、担任の先生のことなど、子ども達が考え抜いた末に発する言葉は、個性に満ちあふれています。また、その表情や目は自分の未来を見据え、希望に満ち、明るく澄んでいて、私にはまぶしく映ります。私達大人が見習わなくてはならない純粋さがここにあります。

本来は校長として面接の「練習」をし、一人一人の子ども達の立ち居振る舞い、受け答えを「評価」しなければならないのですが、そういったことを忘れてしまうほど、毎回毎回3年生の子ども達の純粋さに引き込まれてしまいます。何て可愛い子ども達なのでしょう。

面接では子ども達に、できるだけ各自の名前の由来を聞くことにしています。一人一人の名前には名付けた方の思いや願いが込められていると考えるからです。どの子の名前も本当に素敵で、名付けたときの思いの深さに驚くことが多々あります。

「太陽のように明るい子に」「周囲に対して優しい人に」「穏やかな人に」「華のある人に」「人との結びつきを大切にできる人に」「希望を与える人に」「ほんのり周りを温かくできる人に」「嘘をつかず誠実な人に」「友だちがたくさんできるように」「一瞬一瞬を大切にできる人に」「真っ直ぐな人に」「素直な子に」「青空のように心の澄んだ人に」「花のように愛される存在に」「凛々しく自分軸を持った人に」など…。

もちろん、中にはご両親が出会った場所や好きな言葉、好きな花、画数、占い、偶然兄・姉が発した言葉、祖父母や有名人、生まれた月や季節にちなんで、なども名前の由来になっているようです。

子ども達に「素敵な名前だね」と伝えると、どの子も恥ずかしがりながらも嬉しそうに「ありがとうございます」との答え。子ども達にとって名前は原点であり、目標でもあり、自分にとっての一部分になっていることがわかります。一人一人が大切に、なくてはならない存在であることを改めて感じます。

ちなみに、サルビアの花の名前は、ラテン語で「健康」「安全」を意味する「salvus」から来ており、薬用にされたことに由来してとのこと。花言葉は「良い家庭」「家族愛」で、その由来は、1本の茎にいくつもの花をつけるサルビアの花の姿が、まるで「温かい家族」のように見えるからだそうです。

2学期になって南流中も、体育祭後はコロナのため3年生が、南風祭前にはインフルエンザのため2年生が、それぞれ学年閉鎖になるなど、健康面で不安な時期がありました。

今年度の残り、サルビアの名前の由来のように、「健康」で「安全」な学校生活が送れるよう、そして、その花言葉のように、「温かい家族」のような存在の南流中になるよう願ってやみません。

10月の行事から ～芸術鑑賞会・40周年記念式典・南風祭～

食欲の秋・読書の秋・スポーツの秋・芸術の秋。秋は、気候も過ごしやすくなり、いろいろなことに集中できる季節です。10月の本校は、まさに芸術の秋でした。

10月26日(木)午前中に芸術鑑賞会を行いました。今年度は、テレビ番組『笑点』のメンバーでおなじみの桂宮治師匠に落語を披露していただき、後半は、インタビューと生徒の質疑応答がありました。生徒は、宮治師匠の話から場面を想像して、体育館には、あたたかな笑いが広がりました。午後からは、40周年の記念式典を行い、これまでの南流中の歴史につて振り返る40周年記念動画が流されました。開校当時の昭和58年は、学校の周りは、田畑ばかりで、学校の周りは閑散としていました。入学式は、まだ体育館がないので、南流山センターで実施しました。その後、学校の周辺には、どんどん家々が建ち並び、生徒数も増えてきました。今年度で、この校舎での生活は終わりになります。生徒代表の伊藤風音さんは、「校舎が移転してもこの南流山中学校で培った伝統を受け継いでいきたい」と伝えてくれました。その後、本校の卒業生・大川政美さんも所属する「ミュタントウェーブ」をお招きして、「一人一人の幸せについてみんな考えてよう」と題したお話をしていただきました。これからの時代を生きる生徒にとって必要な「多様性」や「LGBTQ+」についてじっくりと考える機会となりました。

27日(金)には、南風祭、合唱コンクールの部が午前中に開催されました。1年生2年生3年生と学年があがるにつれて、素晴らしい歌声が体育館いっぱいになりました。3年生の合唱は、どの学級も本当に素晴らしく、後輩たちもその歌声にほれほれとしていました。午後は、吹奏楽部の演奏で盛り上がり、コンピュータ部の作製したゲームの紹介動画を見ました。その後の展示見学では、美術部の迫力のある作品や繊細な筆遣いの作品を鑑賞し、家庭科部の作製したビーズや服飾作品をじっくりと見ていました。

この2日間で、さまざまな芸術に触れ、生徒たちの感性も豊かになったことと思います。ここで得た経験を、これからの生活に生かし、過ごしていくことが大切です。



11月の予定表

日 時	行 事 予 定	最終下校時刻
1日(水)	部活動休養日・2年職場体験②	14:20
2日(木)	部活動休養日・情報モラル研修(全校)	14:45
3日(金)	文化の日	
8日(水)	部活動休養日・代表委員会(後期)	14:45
9日(木)	3年期末テスト①・3年給食後下校	16:30
10日(金)	3年期末テスト②	16:30
13日(月)	3年実力テスト	16:30
14日(火)	3年生卒業アルバム撮影	16:30
15日(水)	部活動休養日・委員会(後期)	14:20 委員会 15:20
16日(木)	1年いじめ防止授業	16:30
17日(金)	部活動休養日・流山市教育研究会	13:00
20日(月)	部活動休養日・職員会議	14:20
22日(水)	部活動休養日・1年生校外学習	14:20
23日(木)	勤労感謝の日	
25日(土)	スタディーウィーク(～29日まで)	
29日(水)	1・2年期末テスト①・3年がん教育講座	13:10
30日(木)	1・2年期末テスト②・部活動休養日	13:10

基本下校時刻
16:30

